



# 祝 今月の雲南市は

加茂岩倉遺跡発見20周年

(全国最多の39個の銅鐸出土)

木次線開業100周年

## 本日から第21回全国高等学校総合学科教育研究大会

〈大会スローガン〉

主催：全国総合学科高等学校長協会

夢をかなえる総合学科 新たなステージへ  
～ 人と未来の縁結び ～

本日 ■ 午前：公開授業 … 三刀屋高校、松江農林高校  
■ 午後：全体会 … くにびきメッセ(松江市)  
・ 講話〈文部科学省〉  
・ 全体発表〈県内4校生徒〉  
・ 記念講演〈中村俊郎氏〉  
明日 ■ 午前：分科会 … くにびきメッセ(松江市)  
・ 5分科会で各2校が発表



↑ 島根県内の総合学科設置校は西から

① 益田翔陽 ② 邇摩 ③ 三刀屋 ④ 松江農林 の4高校

(益田産業、平成6年) (平成7年) (平成16年) (平成9年) ←カッコ内は総合学科1期生入学年度  
└ 初の総合学科設置全国7校の一つ

2年生の東京研修2日目は、4大学6学部に分かれてのアカデミックインターンシップⅡ。写真は湘南工科大学で。

### 仲間とアクティブに



**総合学科は** 普通教育を主とする学科である「普通科」、専門教育を主とする学科である「専門学科」に並ぶものとして、平成6年度から導入されたものです。総合学科で行われる教育の特色として、  
※幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視すること。  
※将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視すること。  
などが挙げられます。

(文部科学省HPより)

まもなく旧暦10月。全国の八百万(やおよろず)の神々が出雲の国に集う月。他の土地では神様が留守になるので神無月(かんなづき)となりますが、ここ出雲国では神在月(かみありづき)となります。若者の新造語では「神照月(かみてるつき)」とも。全国からの神々をお迎えする「神迎祭(かみむかえさい)」は旧暦10月10日に行われ、今年は11月9日にあたります。神々の全国大会を前に、一足早く総合学科の全国大会を迎えることとなりました。神対応は致しかねますが、ようこそ島根へ!

#### 今号の紙面では、全国から来県のお客様や一般市民の皆様へ改めて三高総合学科の姿をお伝えします

禁断の鹿実の「働き」  
今夏のインターハイで、新体操の会場となった松江市総合体育館が笑いの渦に包まれたことをご存じだろうか。その主役は男子団体の鹿実こと鹿児島実業高校▼男子の新体操は日本独自の競技だが、特に団体のダイナミック且つ一糸乱れぬ緻密な動きが観客を魅了する。リオ五輪最終日の東京への引き継ぎ式で、大学選手権14連覇中の青森大学男子新体操部を中心とするパフォーマンスは「8分間の奇跡」と呼ばれ、完成度の高い演技が世界中で絶賛された▼今回話題にする鹿実は、張りつめた空気を漂うインターハイ会場で、「笑門来福」をコンセプトに「観客をザワザワさせたい」と意気込み、インターネット上では「禁断の鹿実」と呼ばれる。モヒカン風の髪形でウルトラセブンや五郎丸のポーズのほか、ランニングマン・ライザップ・「穿いてますよ」のパロディも。笑いにコミットして全国制覇を狙うが、今年のインターハイ順位は決して満足のいくものではなかった▼だからと言って、評価されないものではない。会場は心踊るドキドキ感に包まれ、観客は拍手喝采を送った。「見に来てよかった」「元気をもらった」と思わせたその「働き」は、審査のモノサシだけでは測れない。確かな実力にも支えられ、見る者を笑顔にするその「働き」は、立派な社会貢献ではないか。禁断の果実「笑門来福」の虜となった鹿実の挑戦と「働き」に、今後もエールを送りたい▼秋を迎え、ここ雲南各地の祭りやイベントでもそうした「働き」が伝わってくる。コンクールとは異なる場で、園児や小中学生、高校生が演奏や演技・展示等の発表活動で地元を元氣付けるその「働き」も、地域貢献であり地域の財産だ。そして、人それぞれがそれぞれの「働き」をなして繋がる雲南でも、未来を拓く手つかずの果実が、注目されるのを待っているかもしれない。

(編集長記)

【発行所】  
三刀屋高等学校  
〒690-2404  
雲南市三刀屋町  
三刀屋912-2  
TEL: 0854-45-2721  
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】  
有限会社木次印刷  
〒699-1312  
雲南市木次町山方  
630-5  
TEL: 0854-42-8133  
FAX: 0854-42-8155

三刀屋高校総合学科2年次からは自ら設定したテーマに基づき「課題研究」を深めます

【アカデミックインターシップII】

大学の普段の学びの場を体験しながら
何を学びたいのか?
何になりたいのか?
を考えることの大切さを実感しました



▲ 出発前の三刀屋高校での講演会

講師: 倉部史記氏 (NPO法人NEWVERY理事)
高大接続事業部ディレクター
講演のスライドでは「現在の小学1年生の65%は、現時点で存在していない職業に就く」と、近い将来のキャリアショックが説明され、より一層大学と将来への明確な目標意識を持って進学することの大切さが強調された。

→ 福澤諭吉の玄孫で島根が大好きな方です



↑自身の経験に基づき、様々な示唆に富む言葉をいただきました。以下はその一部です。
■仕事をするには才能が必要だが、その才能を持っているか否かは誰にも分からない。「やりたい」と思う仕事があれば才能があるということだ。「やりたい」と思ったら突き進む。
■初任給で仕事を選ぶな。お金で仕事を決めるのではなく、プライドを持ってやれることをやれ。

【2日目】アカデミックインターシップII

Table with 2 columns: 学問系統 (Academic System) and 帝京大学/青山学院/麗澤大学/湘南工科大学 (Teikyo University/Seiyo Gakuin/Reiwa University/Shonan Institute of Technology)

「(訪問先の)大学の特徴を読み解く」「高校生と大学生の違いを理解する」ためのワークショップを経て、シラバスによって午前、午後一つずつ授業を選択し受講しました。オープンキャンパスと違い、毎年、平日の通常授業を大学生と一緒に受講します。



2年

東京研修(3泊4日)に行ってきました

Table with 2 columns: 学問系統 (Academic System) and 課題研究テーマ例 (1学期末段階、変更の可能性あり) (Topic Examples for Problem-based Learning)

※ 上のような課題研究テーマに基づいて、生徒自身で3日目の班別自主研修先を2か所ずつ考え、アポ取り(研修受け入れ交渉)も生徒自身が電話で行いました。

【3日目】班別自主研修の訪問先(計44班の一部)

Table with 3 columns: 班 (Class), 午前 (Morning), 午後 (Afternoon)

系統別の班行動ですが、課題研究のテーマは各自で異なります



帝京大学で

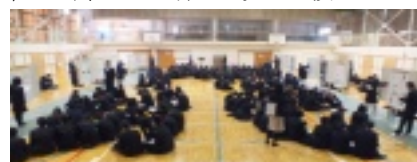


湘南工科大学で



【4日目】最終日は、最高のホスピタリティ(おもてなしの心)をモットーに躍進を続ける東京ディズニーランドを視察(満喫)しました。

課題研究の発表準備へ
2年生は今回の4日間の東京研修を踏まえて、翌週から課題研究の中間発表(本日の公開授業)に向けて準備を進めてきました。
本日の公開授業ではパワーポイントによる発表を行います。
発表は、今年度も深め、年度末にはポスターセッションによる発表会を予定しています(写真は昨年度の体育館での発表風景)。



1年次は 週2時間の授業「産業社会と人間」を通して地域と自分を、そして将来をみつめます



※ 島根県東部の全市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心 !!

# 三高新時代への胎動 地域とともに

## シリーズ 第26回

### 雲南の チャレンジが 連鎖する

## 旬のキャリア教育〈三高の秋〉

「キャリア (career)」とは、元々ラテン語の「キャリア (carraria)」= 轍 (わだち) が語源だと言われています。その人の「過去・現在」と続いてきた「わだち」を大切にしながら、幸せな「未来」に向けて新たな「わだち」を切り拓いていくための教育が「キャリア教育」です。

# 1年

# 全67事業所に分かれて「地域産業研究」実習 (事業所インターンシップ)

10/6、7

## 本日の公開授業で研究成果を発表

台風のため2日間に短縮  
2年生の東京研修と前後して、1年生は「地域産業研究」実習 (事業所インターンシップ) を行いました。3日間の予定が台風の影響で10月6日、7日の2日間の実習となつて

しまいましたが、自分が課題意識を持った分野の関連事業所に分かれて実習を経験しました。地元雲南市を中心に奥出雲町や出雲市、松江市を含む全67事業所 (学校、福祉施設等を含む) のご協力を得て

の実習は、働く場を体験するだけでなく、各事業所での聞き取り調査 (インタビュー) によって、地域が抱える課題とその解決策を探る「地域産業研究」の一貫です。各自の研究の成果はパワーポイントにまとめ、本日の各クラスでの公開授業で発表します。

## 「アカデミックインターンシップ」も

## 広島大学へ行ってきました

10/14

1、2年次の計3回のアカデミックインターンシップの第一弾として、1年生全員が広島大学を訪問し、文理選択に係る説明を受けたほか、卒業生との交流を含むキャンパスツアーを行いました。



学生キャンパスガイド

【学級日誌より (抜粋、一部加筆)】  
：教育委員会の仕事は事務的な仕事ばかりだと思っていたけれど、色んな所へ出かけて、私たちが知らない所で沢山のサポートをしておられたので驚きました。私たちが課題にしていた学力低下や不登校についても、おんせんキャンパス (旧温泉小学校にある教育支援センター) に行かせてもらい、話を聞いてとてもためになりました。私が考えていたことがすでに実行されていたりして、アイデアを練り直す必要もありますが、まだ沢山の課題があることを認識させられました。

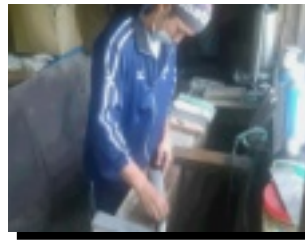
## 例えば地場産業の将来



↑日登牧場で



↑グリーンパワーうんなんで



↑たたら鍛冶工房で

## に関心を寄せる生徒はこんな事業所で実習しました!

「子ども×若者×大人 大交流会」が開かれ、本校からは「地域産業研究」実習 (事業所インターンシップ) を終えたばかりの1年生3名も、研究成果を発表しました。

「大学はたくさんあるから、まずは大学を知ることからして欲しい」という広島大学の先生の言葉が印象に残っています。大学訪問は、大学を実際に知ることに繋がる貴重な機会だと思えます。自分の将来の夢や目標もより深まり、大学に進学するということも選択肢を持たなかった人にとってとてももう一度進路について考えてみようという気持ちになる、そんな一日でした。後輩の皆さんにも是非体験して欲しいです (学校案内より)

子ども×若者×大人 チャレンジが連鎖する2 days

集まろう! 繋がろう! 創り出そう!  
みんなでつくる、雲南の未来! 10/15~16

平成28年度大学改革シンポジウム共催  
**雲南市教育フェスタ2016**  
「ともに未来を考える  
地域でつながる私たちにできること」  
10/16 ラメール/かもてらす



高校生と大学生が一緒に  
なつてのワークショップ  
(10/16、かもてらす)

初日の10月15日は、「地域自主組織取組発表会」と「子ども×若者×大人 大交流会」が開かれ、本校からは「地域産業研究」実習 (事業所インターンシップ) を終えたばかりの1年生3名も、研究成果を発表しました。

2日目午前の今年の「教育フェスタ」は、島根大学平成28年度大学改革シンポジウムとの共催で開かれました。

前半は「ラメール」を会場に、大東高校・飯南高校・島根大学から地域で取り組む活動の様子が発表されました。後半は社会人のトークセッション等と並行して、高校生は福祉センター「かもてらす」に移動して大学生と一緒にワークショップに臨みました。本校生12名も少人数の班に分かれ、与えられたテーマ「地域の行事に若い人が参加しなくて困った」 「空き家が多くて不安」

等、実際に市民から寄せられた地域課題の解決方法を考え、各自が付箋に書き込んだ意見を模造紙に並べ (写真)、一つひとつの意見を関連付けながら整理。班としての考えをまとめました。

なお、このようなワークショップを本校では、島根大学の学生40名ほどが来校して開催される1年次の「授業『大学』」等でも行っています。

島根県高文連演劇大会 出雲・石見地区予選

第一関門突破 『笛男〜フエオトコ』 県大会出場へ

近年では最も多い男子6名を含む1年生13名の計20名で、しばらく遠ざかっている中国大会への出場をめざして頑張っている。



県大会につながる出雲・石見地区予選大会で、演劇部は『笛男〜フエオトコ』(脚本/亀尾佳宏)を演じ、今週末の県大会への出場権を獲得した。2年生7名

【女子】 三高は2ペアがベスト32に入る健闘をみせた。ベスト32は、新人戦や県総体では上位大会につながる成績で、選手にとっては第一目標であり、本校が2ペア入ったのは近年

なかつたことだ。この結果、次の新人戦での団体戦第8シードを獲得した。
▼1回戦 菅田野衣・中林楓香(2年) ④・0 矢上 若槻真依・土谷美蘭(1年)



▼2回戦 菅田野衣・中林楓香 ④・1 石見智翠館 若槻真依・土谷美蘭 ④・1 松江南
▼3回戦 菅田野衣・中林楓香 0・④ 浜田 若槻真依・土谷美蘭 3・④ 石見智翠館

9月中旬~10月19日までの結果です



陸上 (9/17~18、益田市陸上競技場)
県高校新人大会
【男子】予選通過以上
八百m決勝
須山泰成(2年) 第3位
千五百m予選通過
須山泰成(2年)
永井宏樹(2年)
森山幸人(1年)

2名が中国新人大会出場へ
【男子】予選通過以上
1年五千m決勝
名原優太 第2位
(記録により、中国大会には2年が出場権獲得)
名原良太 第4位
【女子】予選通過以上
2年百m予選通過
小豆澤真帆

野球
秋季県大会 (9/16、江津市民球場)
▼1回戦 三刀屋5・⑨ 出雲

卓球
県高校選手権 (9/9~10、県立体育館)
【男子】
シングルス 2回戦進出
和泉 僚(2年)
ダブルス 2回戦進出
和泉 僚・妻戸怜央(2年)

須山泰成
1分59秒64(自己ベスト)
決勝進出ならず
女子砲丸投
高野彩香 8m40
上位進出ならず

【男子】
2回戦から登場の藤原昂輝さん(2年)・清水峻央さん(2年)のペアが江津工業に勝利し、唯一3回戦進出を果たした。

放送
生徒・顧問講習会
兼第16回高校放送フェスティバルON AIR
(9/9~10、サンレイク)
県内高校の放送部員が集い、班別にテレビドラマを制作する宿泊講習会。講師の沖繩国際高校の喜屋武先生の脚本に従い、各班と顧問班が制作した番組作品を鑑賞・批評し合った。

第70回二紀展2016
今年から会員として出品(彫刻の部)
周藤豊治教諭(美術)
▼期日 10/14~16
▼会場 国立新美術館 (東京都港区六本木)
『Watchers』

松江城大茶会
10/2
今年から11月前半が新チームの天王山(大会ラッシュ)

速報 快拳!
三刀屋高が優勝
(社人を含む6チーム総当たり)

吹奏楽

秋を迎えると、吹奏楽部は雲南



市内各地で開催されるイベントに引... 張りだことなる。今月23日は三刀屋と木次でダブル出演となった。演奏で地域を元気にするその働きは、コラム欄で述べたように立派な社会貢献と言えるが、学校行事も多い時期で、ボランティア精神だけでは務まらない心身ともにハードな季節となる。体調管理に注意を払いながら乗り切ってもらいたい。

芸術で繋がる雲南の秋!

映画塾が合同練習取材・撮影!

1 仲道郁代 森麻季 デュオコンサートで一年生が共演

十(活動が次々とコラボします)

左奥に映画塾のカメラ



10月10日(月)に加茂文化ホール・ラメールで開催された「仲道郁代・森麻季デュオコンサート」の中で、吹奏楽部1年生8名が社会人6名とともに共演を果たした。世界を舞台に活躍する仲道さんは、2014年から「雲南あちこちコンサート」を重ねるお馴染みのピアニストだが、今回は東日本大震災復興

支援ソング「花は咲く」でも有名な日本を代表するオペラ歌手の森さんとの夢のコラボが雲南で実現。満員となった当日の会場で、吹奏楽部員と一緒に演奏する場をプレゼントしていただき、感激のステージとなった。
▼社会人との合同練習も
1年生の木管楽器担当部員8名は、モーツァルトの「ピアノ・ハ長調K. 545 1楽章」を演奏するため社会人と合同練習を行ったが、9月17日にはその練習風景を、し

2 さくらおろち湖祭りでも 10/16

雲南市と奥出雲町にまたがるさくらおろち湖(尾原ダム)まね映画塾(錦織良成塾長)の皆さんが映画作品の一コマにと撮影する場面もあった(写真上)。翌18日には、教室で掛合分校の生徒が役を演じる場面も収録され、完成した短編映画『5分前から好きでした』は、11月23日に三刀屋文化体育館アスバルで上映される。



3年生が引退した後、1・2年生部員全員による最初のステージとなった。



木次線開業100周年記念特設HP開設

http://kisuki-line.com/evo/

木次線開業100周年 10/8 記念式典・イベント

1916年(大正5年)10月11日に民営畿上鉄道の宍道駅~木次駅間が開業してから100年を迎えました

写真 華道 箏曲

鉄道百周年の祝いに三高生も躍動



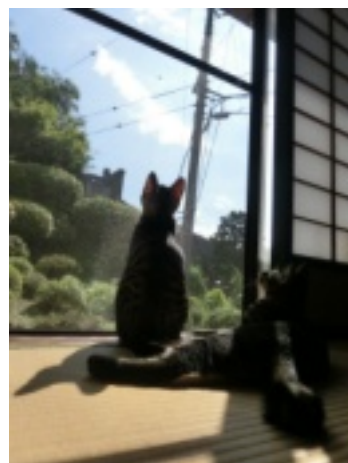
↑荒天が予想されたため中止
10月8日(土)、JR木次駅前木次線開業100周年を祝う記念イベントが開催された。本校からは、イベント開催に向けて募集された写真コンテストに写真部員6名が出品したほか、改札口横には華道部員と外部講師の安部先生、顧問の生け花計5点が展示され、賑わいに華を添えた。
駅前特設ステージでは六子

写真

高文連秋季写真コンクール東部地区講評会

3点が県高校写真展への出品資格を獲得

標記コンクールには県内26校の写真部員282名から1,160点の応募があり、6名が出品した本校からは以下の3点が特選に入った。
年末には、春と秋の両コンクールで特選となった作品の中から出品する島根県高校写真展が開催され、来年度の全国高等学校総合文化祭(宮城大会)への出品



特選 『気になる何か』 藤原恋夏(2年)

見えない猫の視線とほのぼの感を描写した秀作(顧問評)

作品が決定される。
【特選】
▽『気になる何か』 藤原恋夏(2年)

▽『We have a dream』 鐘撞絵理(2年)
▽『君は太陽』 石橋冬也(1年)

(10/19、大東高校)

のミニコンサートや各種団体のステージが続き、三高祭でもお馴染みの市内よさこいチーム「輪音天咲(りんねてんしよ)」が、この日は本校生徒2名も加わって元氣溢れるパフォーマンスで会場を盛り上げた(写真上)。
前日から荒天が予想されたため、箏曲部の演奏や一部プログラムが中止になったのは残念だったが、市民が木次線に親しみ、木次線の利用を促すような取り組みや賑わいの場創出が今後も期待される。

11月	曜	学校行事等	部活等
1	火	しまね教育の日 人権・同和教育LHR(全学年公開)	
2	水	雲南地区高体連体育大会	
3	木	文化の日・3年大学別オープン模試	
4	金	第2回漢検	陸上 バスケット
5	土	出校日 授業「大学」(1年) 3年進駿M模試	陸上 バスケット 野球 サッカー
6	日	第2回英検2次・3年進駿M模試	バスケット 野球 サッカー
7	月	11/5の代休日 PTA大学キャンパスツアー	サッカー
8	火		
9	水		
10	木		卓球 ソフトボール
11	金		卓球 ソフトボール バレー
12	土	第2回オープンキャンパス	野球 自然科学
13	日		ソフトボール
14	月		
15	火		
16	水		放送
17	木	2年高校生の心と性に関する講演会(3・4限)	
18	金	3年全統プレM模試 高校生ボランティア研修会	文芸
19	土	3年全統プレM模試	UNNANデパート選手権
20	日		
21	月	8限授業 試験発表 S.C ロード走補充 防災避難訓練	
22	火	ロード走補充 1年保護者進路ガイダンス	
23	水	勤労感謝の日	
24	木	ロード走補充	
25	金		
26	土	出校日(木曜日の授業)	ESS
27	日		
28	月	期末試験1日目	
29	火	期末試験2日目 大学等説明会	
30	水	11/26の代休日	

## しまね教育の日 お知らせ (しまね教育ウィーク)

平成14年に「しまね教育の日を定める条例」が制定され、11月1日を「しまね教育の日」、あわせて7日までを「しまね教育ウィーク」と定められました。本校ではその期間の前後、以下のような取り組みも予定しております。

### 「しまね教育の日」前後の関連行事

※11月12日のオープンキャンパスについては8面参照

- #### 1 人権・同和教育(公開LHR)

## 11月1日(火) 7限

1年→「身の回りのことから考える」  
2年→「『教科書無償化運動』に学ぶ」  
3年→「話してくれてありがとう」
- #### 2 PTA大学キャンパスツアー

## 11月7日(月)

(代休日、岡山方面の大学を視察します)
- #### 3 1年生保護者進路ガイダンス

## 11月22日(火)

18:30~20:00  
(総合学科棟大講義室 受付18:00~)

## 11月13日(日)

### 投開票日



島根県明るい選挙推進  
シンボルキャラクター「ホープくん」

選挙名称	選挙すべき数
雲南市長選挙	1人
雲南市議会議員一般選挙	22人

任期満了による雲南市長選挙及び雲南市議会議員選挙が11月13日(日)に行われます。選挙の告示日(立候補届出日)は11月6日(日)です。雲南市内に住み票があり、平成10年11月14日までに生まれた3年生の皆さんも投票する権利があります(選挙権を有する皆さんには、事前に住民票の住所に通知がきます)。

## お見逃しなく! ↓今週末です!

書道

第49回島根県高校書道展  
in 県立美術館

10/27(木)~30(日) 入場無料

箏曲

第15回島根県高文連  
日本音楽部門コンクール

10/29(土) in ビッグハート出雲

開演13時 入場無料

演劇

第40回島根県高等学校演劇発表大会

入場無料 in 加茂文化ホール ラメール

10/29(土)~30(日) 三刀屋の上演は  
10/29(土)14:00~15:00

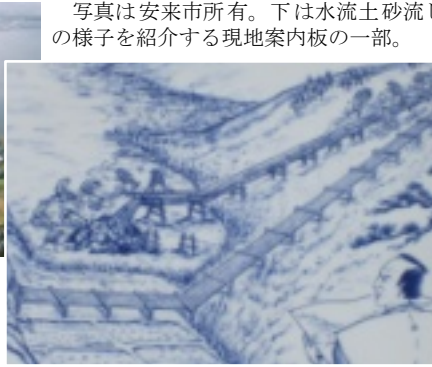


### 「図書館がつなく学びの輪」



今年も「おはなしレストラ」がやってきた  
講師/岩田英作氏(島根県立大学短期大学部教授) 10/1

10月1日(土)の午後、島根県立大学松江キャンパス(短期大学部)から岩田教授と学生1名が来校し、大学の紹介に続いて、キャンパス全体で取り組む「おはなしレストラ」について紹介していただいた。  
会場の本校図書館には中間試験最終日の放課後にもかかわらず、40名近い生徒のほか保護者2名の出席もいただき、最後は生徒自身が絵本の読み聞かせに挑戦した(写真)。



写真は安来市所有。下は水流土砂流しの様子を紹介する現地案内板の一部。

山陰中央新報社の子ども向け「週刊さんいん学聞」第99号でも紹介された安来市荒島町の「卜藏(ぼくら)新田」が写真の左上に広がる。江戸時代、ここにあった日白池を鉄穴流しの手法(水流土砂流し)で干拓して造られた。

## 斐伊川今昔物語 第23回

「棚田と鉄穴残丘」に関する誤解

「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」日本遺産認定(4月)  
錦織良成監督映画『たたら侍』モントリオール映画祭最優秀芸術貢献賞(9月)

以前は、「中国地方の中山間地であつたら製鉄が行われた地域の棚田が、すべて鉄穴流しによって造られたもの」と受け止められかねない説明を見聞きすることがあつた。また、鉄穴残丘のことを、「鉄穴流しの際に、固くて流しきれずに残った円錐状の地形」とする説明もあつた。いずれも誤解を招く言葉不足の感があり、ここで説明を加えたい▼高度経済成長末期の昭和46年に施行された水質汚濁防止法によって、砂鉄採取のための鉄穴流しは完全に姿を消すこととなったが、鉄穴流しの多くはそれ以前、たたら製鉄の灯が消えるとともに大正時代末期にほとんど姿を消していった。ただ、鉄穴流しの手法を活用した新田開発は昭和の時代も行われ、今日の中山間

地は棚田の一部になつてしまつてしまつた。安来市広瀬町の奥田原地区で、80代の男性に聞いた。「(昭和の初めの)子どもの頃には鉄穴流しは無くなつてしまつたが、大人がツルハシで山肌を崩しながら水路に流し、整地して田んぼを造つていた。危険だから子どもは近づくなと言われたが、格好の遊び場となつてよく怒られた。砂鉄を取るためではなかつたが、そうした作業も当時は鉄穴流しと呼んでいて」と述べられた。泥水は水路から河川に流れ込み、天気の良い日でも川は濁つて公害のような状況だつたという▼鉄穴流しの手法を活用した新田開発は江戸時代にも見られ、上の写真で紹介した卜藏新田は、奥出雲町の鉄師の家に生まれた卜藏孫三郎が荒島に移り住んで、16年の歳月をかけて造つた。山陰中央新報社発行『週刊さんいん学聞』第99号の紙面で、「水流土砂流し樋」という言葉を初めて目にしたが、鉄穴流しの手法とは、まさに「水流土砂流し」であり、分かりやすい表現だ▼一

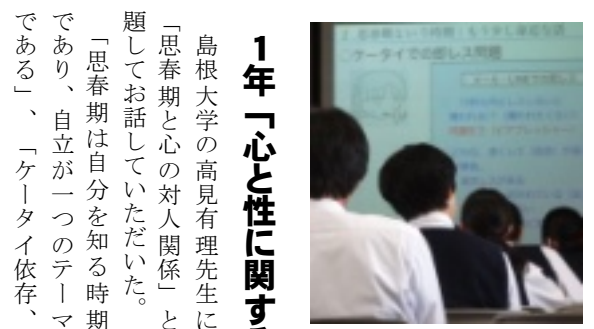


方、水田地帯にポツンと小山のように存在し、その上に墓や祠が多い「鉄穴残丘」を私が初めて知つた頃は、「鉄穴流しの際に、固くて流しきれずに残った円錐状の地形。使いみちが無くて墓地として利用した」との説明を文献で目にする事があつた。当時はなるほどと思つたが、たたら神様「金屋子神社」が鎮座する安来市広瀬町比田地区でのフィールドワークで、90代の男性から次のような指摘を受けた。「流しきれずに残つたほどの固い地面に、土葬用の墓穴を掘るのは無理」と。現在では、鉄穴流しの際に流さず意図的に残した場所も多く、もともとと墓地や鎮守の森祠があつた信仰の場所として説明される。鉄穴残丘は雲南・奥出雲地方の棚田がひろがる景観に、今も静かに溶け込んでいる。

→横田高校近くの奥出雲町稲原地区の鉄穴残丘

### 1年「心と性に関する講演会」

9/21 つながり依存、ネット



島根大学の高見有理先生に「思春期と心の対人関係」と題してお話していただいた。「思春期は自分を知る時期であり、自立が一つのテーマである」、「ケータイ依存、呼びかけられた。

### 実りの秋に厳しい雲南の現実 「獣害」



薄く、9月下旬には近くで一頭が駆除されたが、市街地とは目と鼻の先だつた。  
また、ほぼ同じ場所では、昨年もこれからの季節に校舎から猿が目撃されている。柿を狙っているようだ。山奥深くで生息していた動物が里山に降りてきた背景には、少子高齢化・人口減により、手をかけられずに荒れていく里山の拡がりも考えられる。  
こうした獣害の実態とその解決策を探る「課題研究」にチャレンジする三高生はいないだろうか。

今年はこれまでになく熊の目撃情報が多数寄せられたが、秋になってイノシシの害も相変わらず多いようだ。下の写真

真は校地(学校入口の坂)に隣接する田んぼだが、9月の中旬から収穫直前の稲穂が連日荒らされた。侵入を防ぐためのトタンやネットも効果が

# お待ちしております!

中学3年生対象

# 11/12 (土) 午後

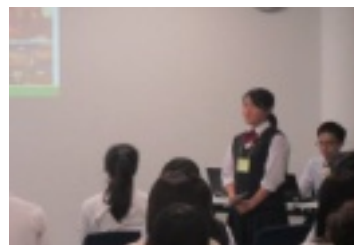
(受付13:00~、開始13:20)

- 島根県内は、各中学校に詳細な案内文書をお届けしています。
- 『学校案内2017』を当日配布しますが、三刀屋高校HPのトップページのサイトメニュー「各種便り」からダウンロードできます。

## 第2回オープンキャンパス



8月の第1回オープンキャンパス参加者



### 平成28年度青少年海外派遣等交流事業(雲南市) リッチモンド・サマースクール等報告会 (米国インディアナ州)

10/9

8月7日出発の今年のリッチモンド・サマースクールには中高生8名(内、本校4名)が参加した。ホームステイをしながらの期間中の様子については、市報『うんなん』10月号を参照して頂きたい。

10月9日(日)には、サマースクール参加者のほか、中高生の幸雲南塾参加者、福島県でのプラチナ未来人財育成塾に参加した市内全中学校の代表者が雲南市役所に集まり、合同報告会が開催された。

人は人によって人になる



雲南市立加茂中学校の学校だより9月号の紙上で、同校の藤江校長は、体育祭の準備から本番までの生徒・教職員懸命な姿や地域の皆様からの支援を振り返り、「人は人によって人になる」ことを実感したと述べられました▼10月の雲南市では、本校1年生の「地域産業研究」実習のほか、小学生の企業見学や雲南市内の中学3年生全員による3日間のインターンシップ(『夢』発見ウィーク)も行われました。地域の皆様のご理解とご協力無くしては実現不可能なキャリア教育プログラムです。このような経験を一つひとつ積み重ねながら多くの人と関わり、支え合うことによって子どもたちが成長する姿からは、多くの皆様も「人は人によって人になる」ことを実感していただけるのではないのでしょうか▼今回の総合学科全国大会のサブテーマ「人と未来の縁結び」がめざす姿は、地域の皆様との一つひとつの縁を大切にすることで、より良い自己実現につながることも意味しているはずで、今後とも協力をよろしく願い申し上げます。

# さんこう 三高92年物語



第29回 島根県高文連発足  
三高を含む15校7部門で  
1951年 全国3番目の連盟設立

今年、全国高等学校文化連盟(全国高文連)が設立30周年を迎えた。連盟設立より10年ほど早く1977年(昭和52年)には全国高等学校総合文化祭(第1回

千葉大会)がスタートしたが、いずれもその歴史は意外と浅い▼ただし、各校の文化部活動の歴史は戦前より続き、戦後は1951年(昭和26年)に大分県・石川県に続き、県単位としては全国3番目に島根県高等学校文化連盟が加盟15校により発足した。発足時7部門(現在は24部門)の中心となったのは、「記録広報」と「社会科学」の両部門だった。記録広報部門は高文連全体の記録と広報を担当し、現在では高文連事務局が機関誌『炬火』を発行するなどしているが、発足当時は各校の社会科学部(社研部)又は新聞部が担当することが多く、両部が高文連活動全体のリーダーシップを担っていた。なぜか?▼島根県高文連が発足した1951年は、サンフランシスコ平和条約が調印された年であ

り、高校では社研部や新聞部が民主主義による新しい日本を語る生徒の先頭に立つ時代だったからだ。あわせて、弁論活動も高文連の花形的存在だった▼加盟部門の高校生が一堂に会した「オリンピアード」は、県単位の高校総合文化祭としては全国初の取り組みで、下の第4回大会のプログラムを見ると、活動報告・討議の「編集」という重責を三高が担っている。この頃の三高には新聞部はいまだ存在しなかったが、昭和23年に芸芸部員が編集の中心となって機関紙『三刀屋が丘』が発刊されており、生徒の手になる実質的な学校新聞が誕生した。高文連全体の活動にも寄与する働きを為していたと推測される。また、社研部も熱心な活動を継続し、昭和41年と44年に最優秀賞を獲得している

▼「オリンピアード」は諸般の事情から昭和53年に廃止が決定され、その後は「社会科学部門」単独の発表会の名称として受け継がれたが、社会科学(社研)・新聞の両部とも三高からは姿を消した。今や県全体で

### 県単位では全国初の高校総合文化祭が 島根県高文連の「オリン(ム)ピアード」

第一会場	松江市公会堂(文化ホール)
第二会場	島根県教育会館(階上)
第三会場	島根県立総合体育館
第四会場	島根県立総合体育館
第五会場	島根県立総合体育館
第六会場	島根県立総合体育館
第七会場	島根県立総合体育館
第八会場	島根県立総合体育館
第九会場	島根県立総合体育館
第十会場	島根県立総合体育館
第十一会場	島根県立総合体育館
第十二会場	島根県立総合体育館
第十三会場	島根県立総合体育館
第十四会場	島根県立総合体育館
第十五会場	島根県立総合体育館
第十六会場	島根県立総合体育館
第十七会場	島根県立総合体育館
第十八会場	島根県立総合体育館
第十九会場	島根県立総合体育館
第二十会場	島根県立総合体育館

※夕方まで続いたプログラムの中で、三高生は合唱も披露。